

防火防災活動を実施

9月3日、全村一斉に消防団による、防火防災活動が実施されました。

今年は、知社と下土居で地区住民と一緒に初級消火には欠かせない消火栓での放水訓練が行われました。また、各地区とも防火水槽・消防水利の泥上げや消火栓の点検なども行いました。

これから、空気も乾燥して火災の発生しやすい時期になってきます。また、寒くなり火を使う機会も多くなってきますので、皆さん、火の取り扱いには十分注意しましょう。



知社地区の消火栓放水訓練の様相



下土居地区の消火栓点検の様相

初級消火のポイント

～3つの早～

○早く知らせる

できるだけ大きな声で、隣近所に火事を知らせ援助を求め。声が出なければ、笛を吹いたり、なべを叩くなど異変を知らせる。隣近所に通報を頼むなどして、火事の大小にかかわらず119番に通報する。

○早く消火する

特に道具がない場合の初級消火は3分程度が限度です。効率的な消火に心がけ、水や消火器だけでなく、座布団を使うなど手近のものを活用する。

○早く逃げる

天井に火が燃え移るなど無理だと思ったら直ぐに避難する。そのときできるだけ燃えている部屋の窓やドアをしめて火事の拡大を防ぐ。

マイバッグ運動してみませんか？

家庭から出されるごみの約6割は、ペットボトルや缶、びん、紙製容器包装などの容器包装廃棄物です。

西粟倉村でも、容器包装リサイクル法に基づき容器包装廃棄物の分別収集が実施されていますが、限りある資源を大切に使い、かけがえのない環境を守るためには、さらに暮らしの中でごみを減らし、資源をできるだけ再利用し、環境にやさしい暮らしに変えていくことが必要です。岡山県では、ごみの減量化・リサイクルを一層推進するとともに、村民一人ひとりが、ごみの減量化の必要性を自覚し、使い捨てのライフスタイルを見直す機会とするため「マイバッグ運動」を進めています。

◎マイバッグ運動の具体的な行動例

【消費者側】

- ① 買い物の際の買い物袋の持参
 - ② 過剰包装の辞退
 - ③ スーパー等のレジ袋の辞退
- #### 【事業者側】
- ① 簡易包装に努める
 - ② 広告などでの買い物袋持参の呼び掛け

10月1日～31日が強化月間となっています。マイバッグ運動は、身近に取り組む減量化に向けた実践活動です。村民、事業者の方の、積極的な参加をお願いします。



《例えば、上写真のようなマイバック》

会場内では



極めたワザと・・・



力作揃いの作品と・・・



様々な体験を



小さなお子さんから
お年寄りの方まで楽しく
過ごした秋の一日でした

外の会場も盛況!!

力強い太鼓の響き



「これちょうだい」



「おいし～」





粟倉神社獅子舞保存会

平成18年度 第2回西栗倉村ふれあいまつり開催

9月23、24日にあわくら会館において平成十八年度ふれあいまつりが開催されました。

24日（日）の式典では米寿者（大正六年九月十六日～大正七年九月十五日生まれの方）・金婚者・頌徳状贈呈者（満年齢九十歳到達の方）等への表彰・感謝状の贈呈がありました。

式典終了後は、ステージ発表の部へと移り、西栗倉小学校児童の合唱を皮切りに、みどりの共和国合唱団による合唱、粟倉神社獅子舞保存会による獅子舞の披露、太極拳と子どもによるカンフー体操・民謡・カラオケ・詩吟各サークルによる発表が行われ、来場されたみなさんは大いに楽しんでいました。また、昼食時間には、あわくら太鼓の小・中学校・保護者有志による太鼓の演奏が行われました。これは先日行われた幼・小・中合同運動会が悪天候のため披露できなかったもので、一生懸命練習した太鼓をぜひ披露したいということと、力強い太鼓の音が会場に響きわたりました。

今年から中庭にはバザーや焼きそばやフランクフルト、ゲームコーナー等の店が出てお祭り気分を盛り上げました。晴天にも恵まれ盛会のうちに一日が終わりまし



式典での表彰の様子

ふれあいまつり表彰者			
区分	地区名	氏名	備考
老人クラブ 連合会長表彰	塩谷	矢代 悦子	家族介護
	影石	萩原 藤枝	家族介護
	中土居	河野 幸恵	家族介護
	谷口	小渕 昌江	環境美化
福祉協会長 表彰	大茅	井上 君子	自立更生
	谷口	政久美 禰子	自立更生
	影石	江見 高子	自立更生
	中土居	春名 秋子	自立更生
村長表彰	塩谷	塩谷老人クラブ	花いっぱい運動
	影石	福島 賢典	自立更生
	塩谷	赤代 欽一	家族介護
勝英身体障害者福祉協 会長表彰	引谷	平田 勝美	自立更生
	"	乾 みや子	自立更生

金婚者		
地区名	氏名	結婚(届出)年月
大茅	金田 隆史 照美	昭31年11月
猪之部	井上 豊 英子	昭和31年3月
塩谷	林 新一 文子	昭和31年2月
"	井上 重昭 重子	昭和31年4月
別府	道上 勇 弘子	昭和31年3月
"	國里 正之 千鶴子	昭和31年9月
引谷	小椋 作男 ふみ子	昭和31年7月
中土居	井上 正義 あやの	昭和31年1月
"	福島 正美 緋佐子	昭和31年2月
筏津	手槌 實 露子	昭和31年2月
"	團野 保雄 滝子	昭和31年4月
知社	小松 義和 咲子	昭和31年3月
"	清水 巖 文子	昭和31年8月

米寿記念品贈呈者（以下、敬称略）

地区名	氏名	生年月日
大茅	矢部 正一	大7年3月11日
坂根	安妻 政恵	大7年4月20日
塩谷	新田 達	大7年2月14日
"	井上しげの	大7年4月30日
"	清水多美子	大7年8月13日
影石	江見富美代	大6年11月16日
"	萩原てるよ	大7年3月30日
引谷	乾 多津子	大7年4月1日
中土居	白旗たねよ	大7年6月8日

頌徳状贈呈者（満90歳到達者）

地区名	氏名	生年月日
大茅	岸本イツエ	大5年8月5日
坂根	内海ももゑ	大5年5月1日
塩谷	赤代 富子	大5年1月25日
"	新田なみこ	大5年4月14日
谷口	中島 龍子	大5年3月30日
別府	竹内 淳圓	大4年10月13日
"	竹内 富代	大5年4月12日
引谷	杉浦 きみ	大5年1月20日
"	乾 豊治	大5年3月8日



インフルエンザの予防接種は西栗倉村診療所でも受けられます

接種期間：10月10日（火曜日）より12月中旬まで

（11月末までは予約なし。12月中は事前の予約をお願い致します。）

接種時間：通常の診察と並行して行います。

接種回数、料金など：（村内在住者の料金）

年 齢	接種量	接種回数	料 金	負 担 者
1歳未満	0.1ml	2回	2,000円（2回合わせて）	全額自費
1～5歳	0.2ml	2回	2,000円（2回合わせて）	全額自費
6～12歳	0.3ml	2回	2,000円（2回合わせて）	全額自費
13～64歳	0.5ml	1回	3,000円（中学生は2,000円）	全額自費
65歳以上	0.5ml	1回	1,500円	自治体からの補助

※但し、ウイルスの型に大きな変異がある場合には2回接種する必要もあります。

※また、その他の医療機関でも接種する事は可能です。ただし、料金・接種日時などは各医療機関で異なりますので、詳しくは各医療機関にお問い合わせください。

禁煙治療による禁煙にチャレンジしませんか？

西栗倉村国保診療所では、平成18年8月1日より『医療保険が適用される禁煙治療』を行っています（電話による予約が必要）。喫煙を単なる習慣や嗜好と考えるのではなく、ニコチン依存症と言う病気としてとらえ、必要な治療を行うという考え方で、治療は一定の条件を満たした喫煙者ならどなたでも受診することができます。

1. どんな治療をするのですか？

受 診 時 期	治 療 内 容
治療前の問診・診療	禁煙治療のための条件の確認
初回診療	① 診察 ② 呼気一酸化炭素濃度の測定 ③ 禁煙実行、継続に向けてのアドバイス ④ ニコチン製剤の処方
再診1（2週間後）	
再診2（4週間後）	
再診3（8週間後）	
再診4（12週間後）	

2. 費用はいくらがかかりますか？

個人負担額は、治療内容・保険種別などによって異なります。仮に一般的な治療で、3割の本人負担とすると約12,000円程度になります。

3. 禁煙の薬ってどんな薬ですか？

禁煙のための補助薬として、ニコチンパッチとガムがありますが、西栗倉診療所ではパッチを採用いたします。

毎日1枚皮膚に貼り、ニコチンを皮膚から吸収させる方法です。一定期間を置きながら、貼り薬の大きいサイズのものから3段階で小さなサイズに切り替えて使用するのが一般的な使用方法です。

内容の詳しいお問い合わせは西栗倉村診療所（TEL79-2220）まで

平成18年度もインフルエンザの予防接種を行います

昨年も大流行したインフルエンザの時期がやってきます。東南アジアでは新型肺炎SARSの再燃も危惧され、世界保健機関(WHO)や厚生労働省は、インフルエンザ予防の徹底を呼びかけています。

* インフルエンザ予防が必要な理由

- ① インフルエンザが流行すると高齢者や慢性疾患患者での死亡率が高くなります。
- ② インフルエンザの症状がSARSの初期症状（高熱、呼吸器症状、筋肉痛など）によく似ており鑑別が困難です。
- ③ SARSが否定できない場合は、SARSの疑い例（通常の医療機関では診察できない）として診察しないといけないため医療機関が混乱し、ひいては社会的なパニックが起こります。
- ④ SARSをインフルエンザと誤診することでSARSの院内感染の危険が高まります。
- ⑤ SARSには現在のところ確立された診断方法がなく、ワクチンや治療薬が存在しません。

注意しないといけないのは

「SARSにインフルエンザワクチンは無効」ということです。インフルエンザワクチンはあくまで「インフルエンザの発病の予防と重症化の阻止」という効果のみです。

* インフルエンザの予防法は？

予防の基本は流行前に予防接種を受けることで、最も有効な方法です。その他、感染予防のためには、人込みを避け、常日頃から十分な栄養と休息をとることが大切です。また、空気の乾燥がインフルエンザ感染には大いに関係しているため、室内では加湿器の使用などで加湿を心がけてください。外出時のマスク、帰宅時のうがい、手洗いは普通の風邪の予防と併せてしっかり行いましょう。

* 特に予防接種が必要な方は？

- ① 高齢者、免疫機能低下者
- ② 慢性の心循環器疾患、呼吸器疾患、腎疾患、代謝性疾患を基礎疾患に持つ者
- ③ 小児は特に（脳炎、脳症や心筋炎）など危険な合併症を起こしやすい
- ④ ①～③の方の家族
- ⑤ 医療・福祉関係者

* いつに予防接種するのが効果的なのか？

ワクチン接種後インフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間ほどかかるため、12月中旬までに受けられることをお勧めいたします。2回接種が必要な方の接種間隔は1～4週間ですが、可能なら4週間あけてください。また、ワクチンの効果持続は約5ヶ月といわれています。以上のことを踏まえて予防接種の時期を決定してください。

* 予防接種を受ける際の注意点は？

インフルエンザの予防接種は任意の予防接種であるため本人の希望により接種いたします。あらかじめ配布された予防接種の説明書をよく読み、副反応にも十分理解の上、接種の決定を行ってください（不明な点があれば、当日医師に相談の上で決定してすることも可能です）。

予診票は安全に予防接種が行えるかを判定する重要な資料です。接種希望者は、予診票の質問事項をもれなく、正確に記載してください。ワクチン接種後30分以内の健康状態の変化には十分注意し、すぐ医療機関に連絡が取れるようにしておいてください。予防接種当日の入浴は差し支えませんが、過激な運動、大量の飲酒は避けてください。